

公表：令和2年10月17日

事業所名 こどもプラス吉野ヶ里教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2		・児童の人数に応じて部屋を分けて活用しなるべく偏らないようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	2	2	・児童の状況、様子によっては対応に追われ足りないと感じる時もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3		・玄関は段差なし。まだバリアフリーの必要のある児童の利用は無く分からない部分もある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	3		・毎日ミーティングを行い前日の児童の様子を振りかえり、その日の支援内容を確認する時間を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		・アンケートを行っているだけでなく、送迎時や連絡帳を通じていつでも相談できる関係を築いている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3		・事業所ホームページに掲載し、保護者へ通知している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	1	・保護者、職員へのアンケートはあるが第三者の外部評価がないので今後行いたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	3		・定期的に虐待の研修をしたり月に1度本部研修を行ったり向上を図っている。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		・契約時だけでなく年に1度アセスメントを取り直し情報の更新を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		・生活面、学習面、食べ物に関する事など情報提供をしてもらっている。アセスメントをもとに児童それぞれの特性を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		・ミーティングなどを通じてその日に行う運動や学習の内容を確認したりしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	3		・毎日行っている運動遊びが固定化しないようにプログラムの作成や実施する担当を回して全員で行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	3		・休日や長期休暇にはイベントを取り入れ普段できないような事をやっている。

関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・子どもたちの状況などアセスメントと照らし合わせながら集団での関わりも増やせるような計画をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・職員ミーティングにて役割分担を行い送迎の確認などもしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		5		・前日の振り返りをし申し送りをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1		・業務終了後にケース記録の記入を行いその日の振り返りを翌日に行う。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		・ミーティングの時間を用いてモニタリングを行いどの職員も発言のしやすい環境を作っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	3		・マンネリ化しないように様々な活動を取り入れ行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		・児発管が参加している。参加前にはスタッフからの聞き取りをし、課題などを意見しあう。参加者からの報告も受けている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		・連絡帳などを通して連絡を頂いたり送迎時に直近の行事などを教えて頂くことが多い。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5		・今の所受け入れは無いが今後のことも考え各児童の病院の把握は行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	2	・通っていた場所までは把握できているが先生たちとの話までできていない。アセスメントでの情報が主である。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4		・事業所から直接はないが支援会議などに出席しデイサービスでの状況を伝えるようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	・なかなか行けていないので今後行けたらと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	2	・同じ場にいる事はできるが交流をすることはまだ出来ておらず増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	・今後参加していきたいと思っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		・送迎時に連絡帳や電話を用いていつでも連絡できるようにし情報交換を密に行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		・相談事などいつでもできるような関係性を心がけ相談があった時には助言できるよう努めている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		・ 契約時に代表より説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		・ 相談事にすぐ応じるように体制を作り内容によっては関連機関と相談しながら解決に導いている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4	・ 開催しておらず今のところ開催する予定はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		・ 苦情があった場合は状況の確認を行い迅速に対応できるようにしており内容によっては教室だけで判断せず対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		・ イベントや行事のお便りを毎月作成し配っている
	35	個人情報に十分注意しているか	5			・ 鍵のついた書庫などに入れている。個人情報は必ずシュレッダーにかける。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		・ 保護者との会話では児童の特性に配慮することを心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	・ 地域の行事への参加は定期的に行うようにしているが招待はしたことがない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		・ 緊急時の対応については訓練を行いスタッフ間で周知し記録をしているが保護者への周知はない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1		・ 定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		・ 教室だけでなく県庁より講師を呼び受講する機会を設けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	1	・ 身体拘束の必要がある場合には保護者の同意のもと計画書にも記載をする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4		・ アレルギーのある児童が利用する場合には必ず情報の周知徹底をし、細心の注意を払う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		・ ヒヤリハット事案がある際は必ず記録をしいつでも閲覧可能にしている。